

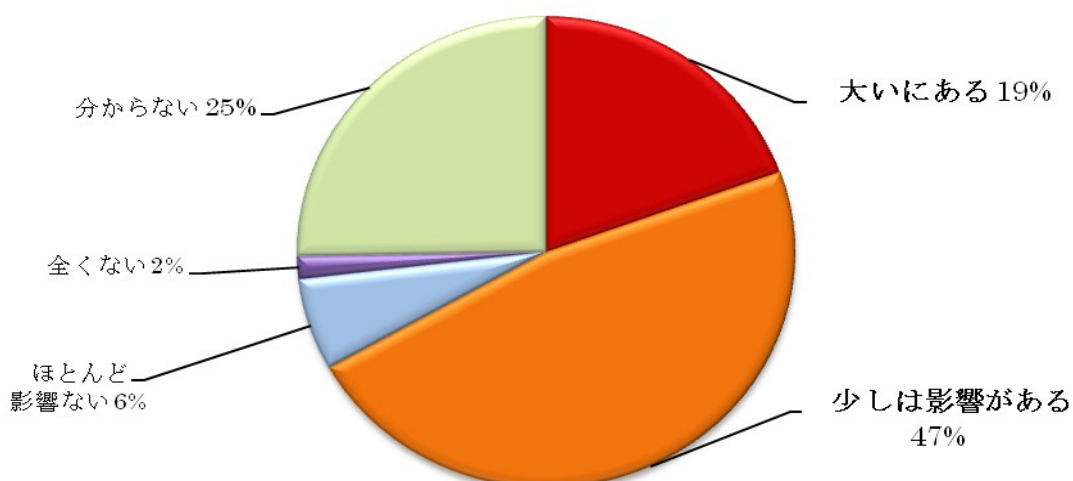
## カーペットと良質な学習環境に関する意識調査

当組合ハウスダスト問題対策検討プロジェクトチーム・学習効果ワーキンググループは2011年から13年にかけて、「カーペットと良質な学習環境との関係」について調査した。この調査をはじめのきっかけになったのは、2001年にアメリカで報告された「教室のインテリアデザインと学業成績の関係」という調査結果である。この調査ではアンケートに答えた学校教師の約60%が、カーペットは学習レベルや成績の向上に非常に強い影響を与えていると答えている。

当ワーキンググループではアメリカで発表されたこの結果が日本でも当てはまるのかどうかを検証するため、全国の図書館及び学習塾を対象に「カーペットと学習環境」に関する意識調査を行った。図書館(公立図書館、大学図書館など)からは131件、学習塾からは59件、合わせて190件の回答を得た。

アンケートの結果、「カーペットが良質な学習環境の形成に影響するか？」の問いについては、66%の図書館・学習塾が「大いに影響ある」、「少しは影響がある」と回答した(下記円グラフ参照)。

### Q、カーペットが良質な学習環境の形成に影響するか？



### **ヒアリング調査**

アンケート回答者で、カーペットを使用している学習塾の代表者や施設担当者にヒアリング調査(電話調査含む)も実施した。

教室にカーペットを敷いた経緯について尋ねたところ、ある代表者は「土足やフローリングのところで授業をしたことがあるが、土足では掃除が大変だし、フローリングだと声が反響してしまう」と回答。

また、他の人もカーペットを使用している理由について、高級感・静音性(鉛筆等を落としても気にならない等)・遮音性(音が反響せずに耳障りにならない等)・断熱性・デザイン性・床が光らず目に優しい、落ち着いた雰囲気になる等と答え、それらのことを普段の授業を通して実感しているようであった。

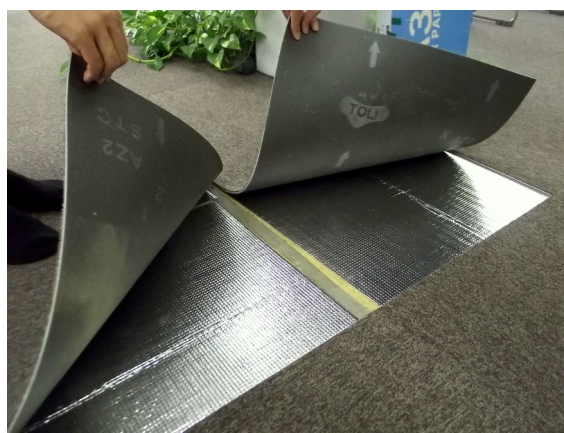
また、別の塾では、塾の玄関で靴からスリッパに履き替えるようにしており、「下履きを脱いでカーペットの上に足を踏み入れると、その時点で『勉強する』と言うスイッチが入る子供たちが多い」と話していた。カーペットが子どもたちの学習意欲の向上に役立っているということだろう。

良質な学習環境をつくるには、教室の温度・湿度や照度など様々な条件があるが、床材に関してはカーペットが最適で、落ち着いて勉強に集中でき、良い学習環境が保てると支持する声が多かった。



**某進学塾（堺市）**

代表者はこれまでにいくつかの塾で働いた経験をもとに、グループ全教室にカーペットを採用。掃除機は毎日かけている。



**某学習塾（高槻市）**

カーペットの下に保温シートを敷いている。「寒くないし、感触もいい」と、生徒の評判も良い。系列の教室でもカーペットが使用されている。

## まとめ

アンケート・ヒアリング調査の結果、「静音性」、「安全性」、「快適性」などのカーペットの特性は十分理解されていることが分かった。さらに、我々があまり予想していなかった特性、「光が反射しにくい」や「落ち着いた雰囲気になる」なども評価されていた。

冒頭でも報告したように、「カーペットが良質な学習環境の形成に影響するか？」の質問に66%の人が「影響あり」と答えており、さらにヒアリング調査でもカーペットの特性を評価する声は多く、当調査をはじめのきっかけとなったアメリカの調査結果が日本でも当てはまるということが裏付けられた。